

防災CRT装置
商品仕様書

RX-CRT

NDC 日本ドライケミカル株式会社

作成日 2021年 1月 8日

8Y-07045-AP 1/16

目次

1 : 概要	-----	3
2 : 特徴	-----	4
3 : 画面構成	-----	5
4 : 機能説明		
4. 1 : 基本操作	-----	6
4. 2 : 画面拡大縮小	-----	7
4. 3 : 画面 4 分割表示	-----	8
4. 4 : サブ画面表示	-----	9
4. 5 : シンボル操作	-----	10
4. 6 : 履歴表示	-----	11
4. 7 : 受信機操作	-----	12
4. 8 : シミュレーション	-----	13
5 : 表示シンボル例	-----	14
6 : 機器仕様	-----	16

1 : 概要

防災CRT装置を接続することによって、センターでの表示、操作性をさらに高めることができます。発報場所や機器の動作状況が、きめ細かな地図表示によって容易に把握でき、防排煙機器の制御等を始めとする、システムの制御や、防災CRT装置から遠隔での受信機操作等を行うことを実現します。

警報有無、動作モード、状態ラベル、時刻、第一報及び最新報の表示及び各種画面切替や印刷等の操作ボタンをまとめたエリアです。

シンボルをマウスで選択するとそのシンボルに対して操作できるボタンを含む、ダイアログが開きます。

ガイダンス表示及び警報や履歴の画面切替を始め各種受信機操作の機能ボタンをまとめたエリアです。

(感知器ダイアログ)

表示するフロアを自在に切り替えるための操作ボタンです。

凡例

- 火災代表
- 煙感知器
- 連動用煙感知器
- 熱感知器
- 発信機
- ガス漏れ検知器
- 防火戸
- シャッター
- ダンパー
- 排煙口
- 排煙機
- S Pアラーム弁
- 消火栓ポンプ

(凡例表示画面)

地図一覧

屋上
PHF
11F
10F
9F
8F
7F
6F
5F
4F
3F
2F
1F
B1F

(地図一覧画面)

2：特徴

- ・ フルカラー表示による、地図表示

見やすい、わかりやすい地図表示を可能にします。

- ・ マウス一つで簡単に操作

マウスでのカーソル操作、左ボタンクリック一つで通常の全ての操作が可能です。

- ・ 地図画面拡大縮小、分割表示、サブ画面表示機能

地図画面を4倍まで拡大、縮小表示や画面上に異なる地図画面を4画面まで表示、画面上に異なる地図画面を重ね合せて表示を行うなどの地図画面閲覧機能が充実しています。

- ・ ダイアログ表示機能

地図上のシンボルをマウスで選択することによって、そのシンボルの種別や場所、名称、現在の状態、操作可能なボタンを持つダイアログを表示、現状の把握、設備の制御が安全かつ簡単に行えます。

- ・ アナロググラフ表示機能

アナログ感知器のグラフを表示することが可能です。
火災発報時や現在の状態を表示するにとどまらず、最大500情報までの過去のアナロググラフを記憶し、現状の把握に役立てることが可能です。

- ・ 履歴表示機能

過去に発生した履歴を5000件まで記憶、参照可能です。
また、参照している履歴をマウスで選択することによって該当画面を表示する親切設計です。

- ・ 受信機操作機能

防災CRT装置から様々な受信機の操作を可能にしています。

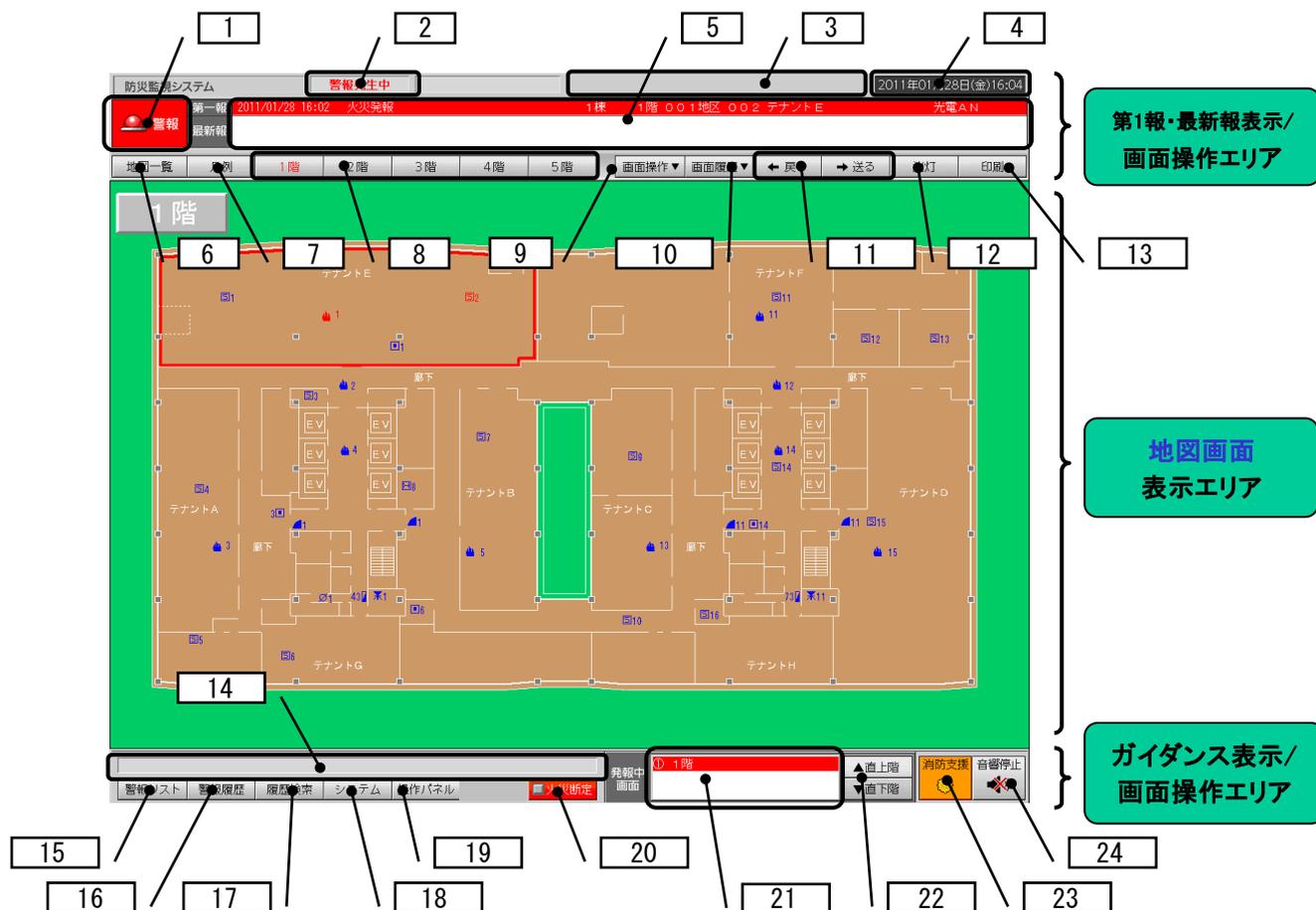
- ・ シミュレーション機能

シミュレーション機能を使用することによって、実際の火災を想定した模擬訓練を実現します。

- ・ 消防支援機能

各社統一した操作方法で防災CRT装置から「連動停止スイッチ」「消火ポンプ」「排煙機」の確認、操作が行えます。

3 : 画面構成



◆**地図画面表示エリア**： 地図表示の他、各種設定画面、アラームリスト等を表示します。

◆**ガイダンス表示/画面操作エリア**： 地図画面表示エリア上下に配置。以下に概要を示します。

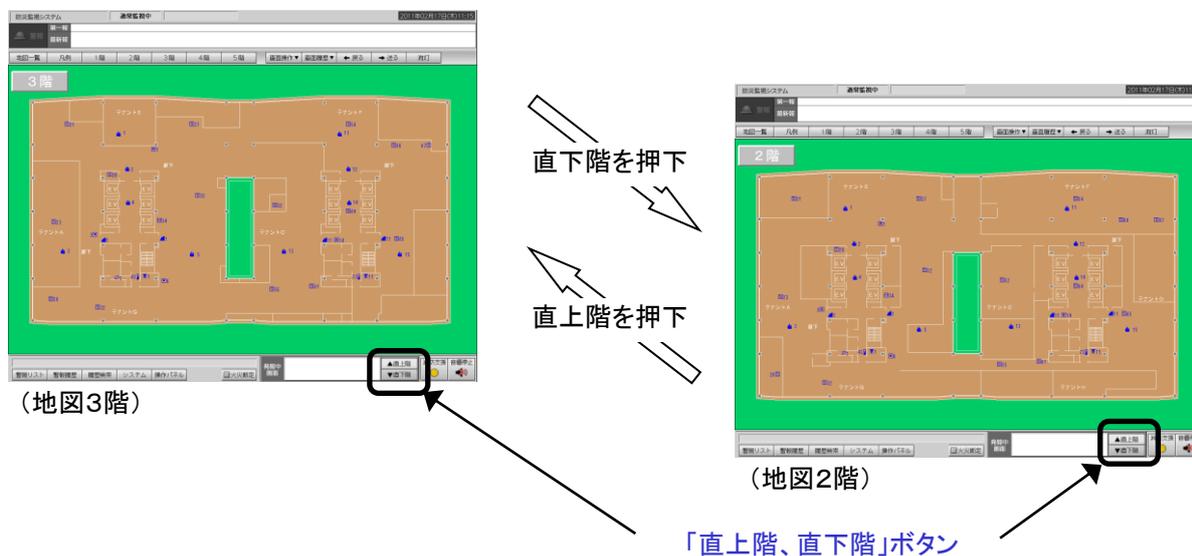
1	警報ピ外：重要警報時にパライト赤色点滅	13	「印刷」ボタン：現在画面のハードコピー用(オプション)
2	動作モード表示エリア：動作モード表示	14	ガイダンス表示エリア：変化、操作ガイダンス表示
3	状態ラベル表示エリア：警報、スイッチ状態表示	15	「警報リスト」ボタン：「警報リスト画面」表示用
4	時刻表示エリア：現在時刻(24時間制)表示	16	「警報履歴」ボタン：「警報履歴画面」表示用
5	第1報・最新報表示エリア：第1報,最新2報表示	17	「履歴検索」ボタン：「履歴検索画面」表示用
6	「地図一覧」ボタン：「地図一覧画面」表示用	18	「システム」ボタン：本体、試験メニュー表示用
7	「凡例」ボタン：「凡例画面」表示用	19	「操作パネル」ボタン：受信機遠隔操作用
8	画面呼出ボタン：登録画面呼出用	20	「火災断定」ボタン：受信機火災断定用
9	「画面操作」ボタン：画面操作メニュー表示用	21	発報中画面エリア：警報中画面名称表示
10	「画面履歴」ボタン：最新10画面履歴表示用	22	「直上階」・「直下階」ボタン：直上直下階表示用
11	「戻る」・「送る」ボタン：前後表示画面呼出用	23	「消防支援」ボタン：消防活動支援メニュー表示用
12	「消灯」ボタン：スクリーンセーバー起動用	24	「音響停止」ボタン：警報音響停止用

4：機能説明

4. 1：基本操作（地図の閲覧）

- ・直上階、直下階キーによる操作

このキーを操作することによって、現在表示している地図の直上階、直下階の表示を行います。



4. 2 : 画面拡大縮小

地図画面を拡大表示/縮小表示（1倍⇔1.5倍⇔2倍⇔3倍⇔4倍）することが可能です。

* 「画面拡大縮小」の場合、画面表示の基点は地図画面の中央です。

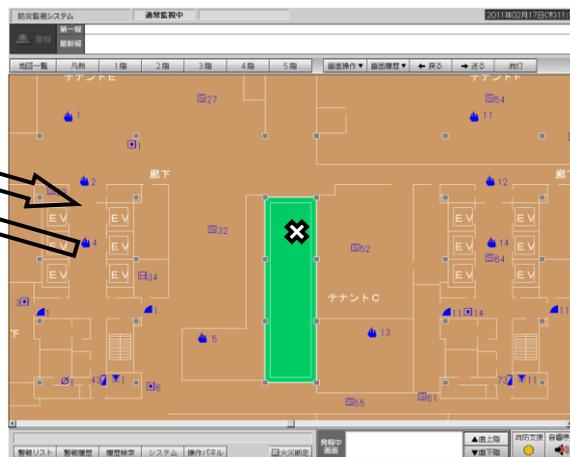
* 各地図内にある画面表示の基点「×」は、実際は表示されません。

・現在画面の中央(×)を拡大/縮小の基点にする場合



(1倍)

1. 「画面操作」ボタンを押下
2. メニューから「拡大」又は「縮小」を選択

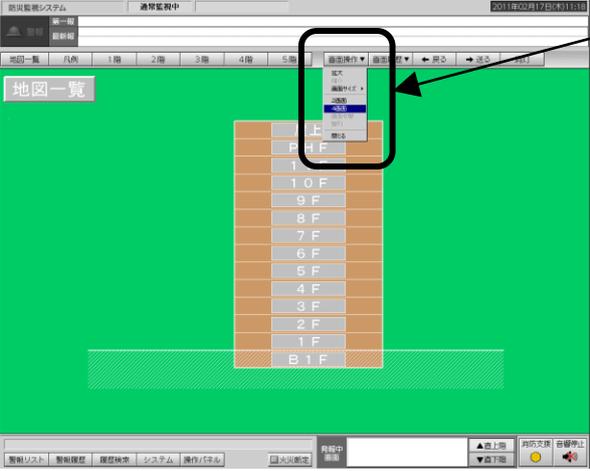


(1.5倍)

4. 3 画面4分割表示

地図一覧画面で複数の地図を選択することによって、最大4画面までの表示を行うことができます。4分割表示された各々の画面に対して、基本操作を始めとする各種操作が可能です。

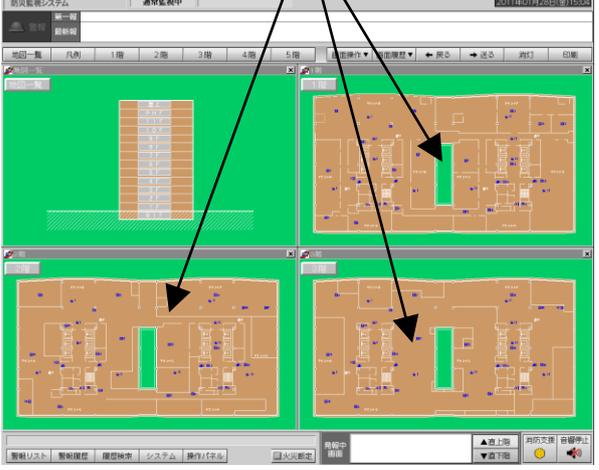
(1画面表示)



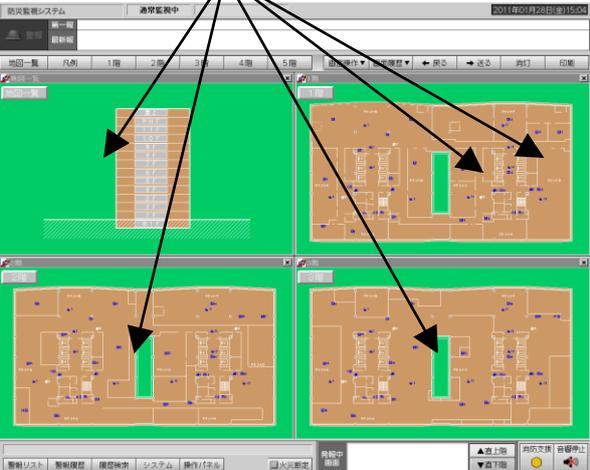
1. 「画面操作」押下から「4画面」を選択

2. 任意画面を選択して別の地図画面、凡例などを表示。

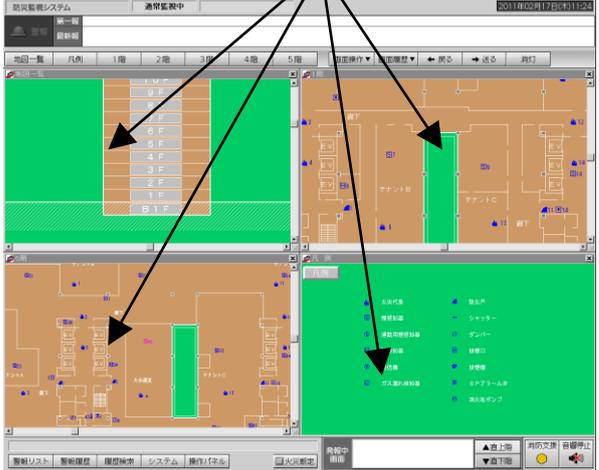
(4画面表示)



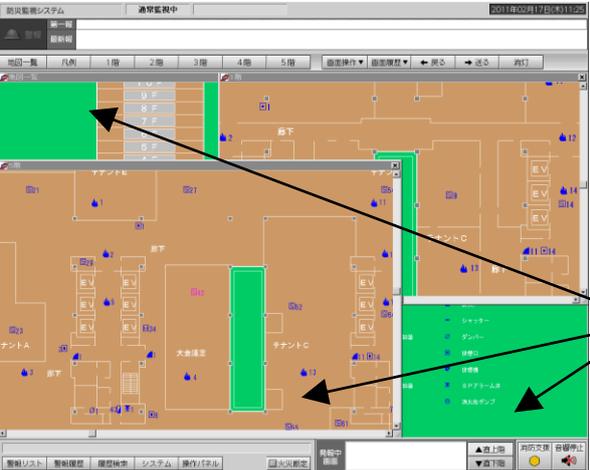
3. 各地図画面の拡大/縮小やシンボルの選択が可能。



4. 各地図画面のサイズ変更や移動、重ね合わせが自在。

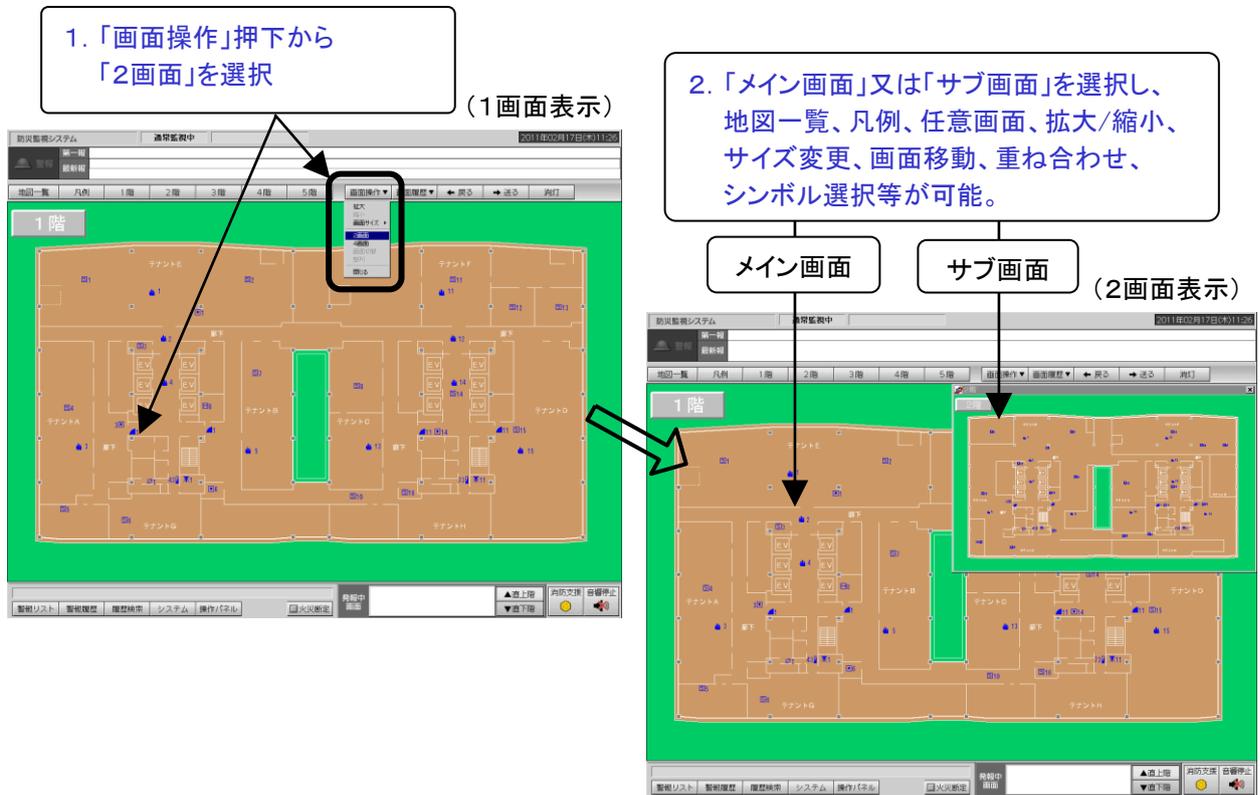


5. 各地図画面の表示部を選択し表示を手前に出すことも可能。

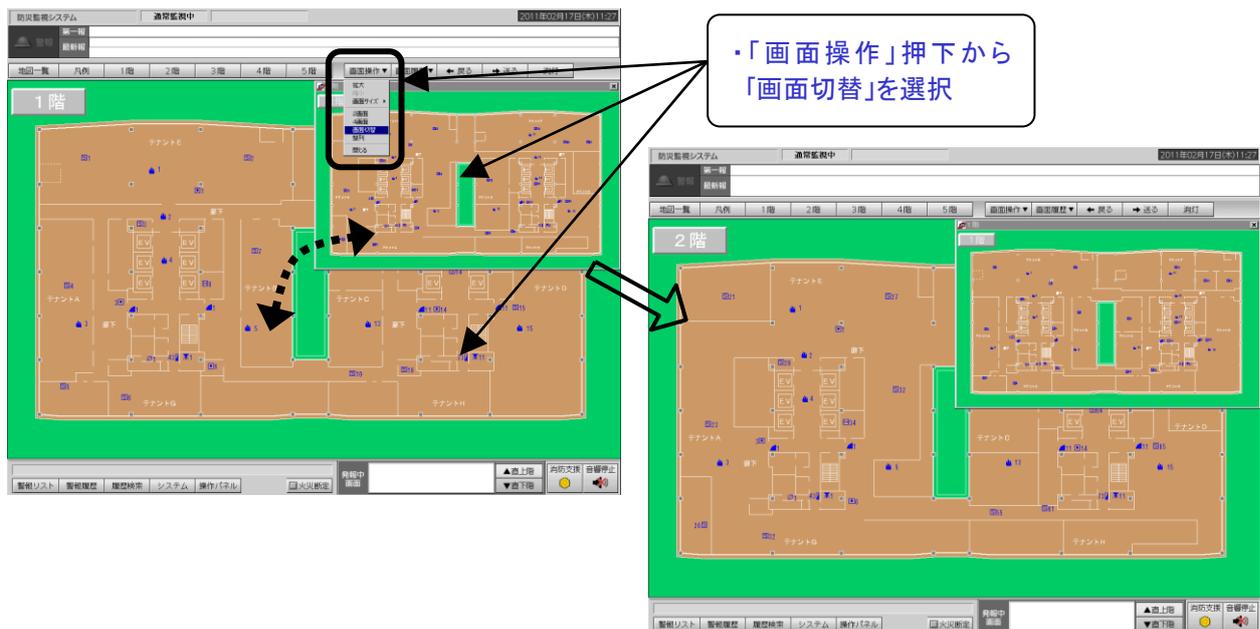


4. 4 : サブ画面表示

- サブ画面が表示されていない場合
複数画面（2画面、4画面）を選択すると現在表示されている地図画面をサブ画面にも表示します。メイン画面、サブ画面ともに基本操作等を始めとする各操作ができますので、参照したい複数の画面をスムーズに参照することが可能です。

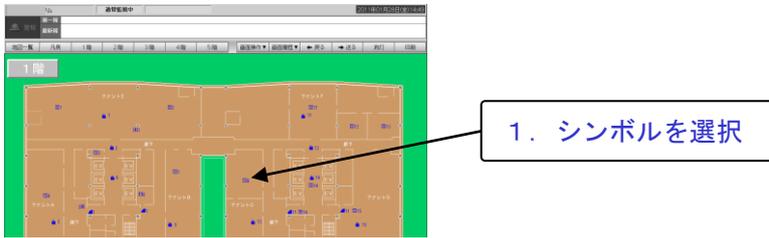


- 2画面表示されている場合
* 現在表示中のメイン画面とサブ画面とを相互に入れ替えることができます。
* 出火階、直上階などの関連した画面の情報を切替えながら、把握するのに便利です。



4. 5 : シンボル操作

地図画面上の各種シンボルを選択することによって、ダイアログが開きます。
ダイアログ内のボタンを選択することによってそのシンボルの状態参照、
制御等を行うことが可能です。

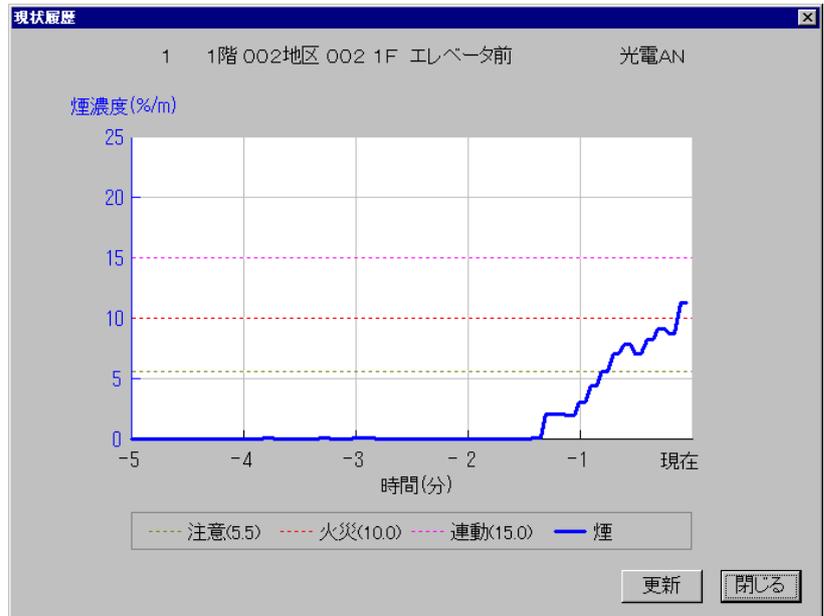


- ・アナログ感知器(光電アナログ感知器の場合)のダイアログ
 - 発報履歴: 発報時点の前後5分間をグラフ表示
 - 現状履歴: 過去5分間のグラフ表示
 - 期間履歴: 過去30日間のグラフ表示
 - 過去履歴一覧: 過去の発報時のデータを記憶し、リスト表示から選択

(ダイアログ)



(トレンドグラフ)

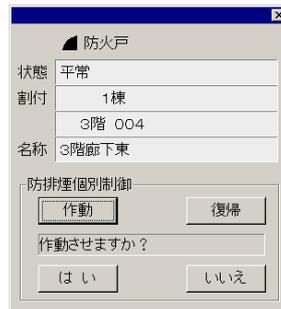


- ・防排煙端末のダイアログ

防排煙端末を始めとする制御可能な端末はダイアログ内に、制御のためのボタンが表示されます。
制御は2段階操作で行い、誤操作の低減をはかっています。



作動ボタン
を選択

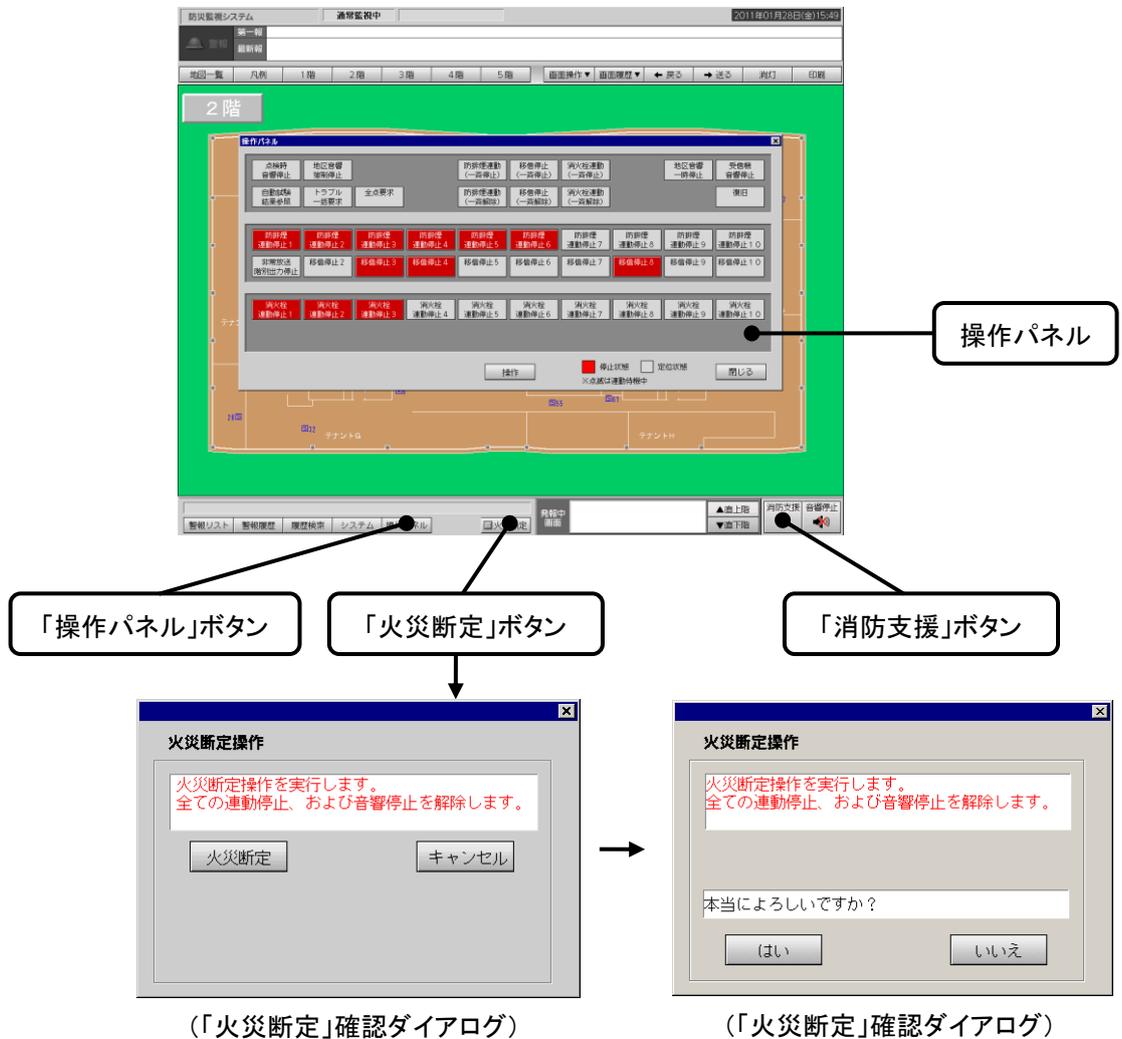


はいボタン
を選択



4. 7 : 受信機操作

「操作パネル」ボタンを選択すると、画面上に操作パネルを表示、受信機の遠隔操作ができます。操作パネルには、最大60個まで受信機などを操作するためのボタンが定義可能です。「火災断定」ボタンを選択すると、画面上に「火災断定確認ダイアログ」が表示され、操作の確認を行い、3段階操作で誤操作を防止します。



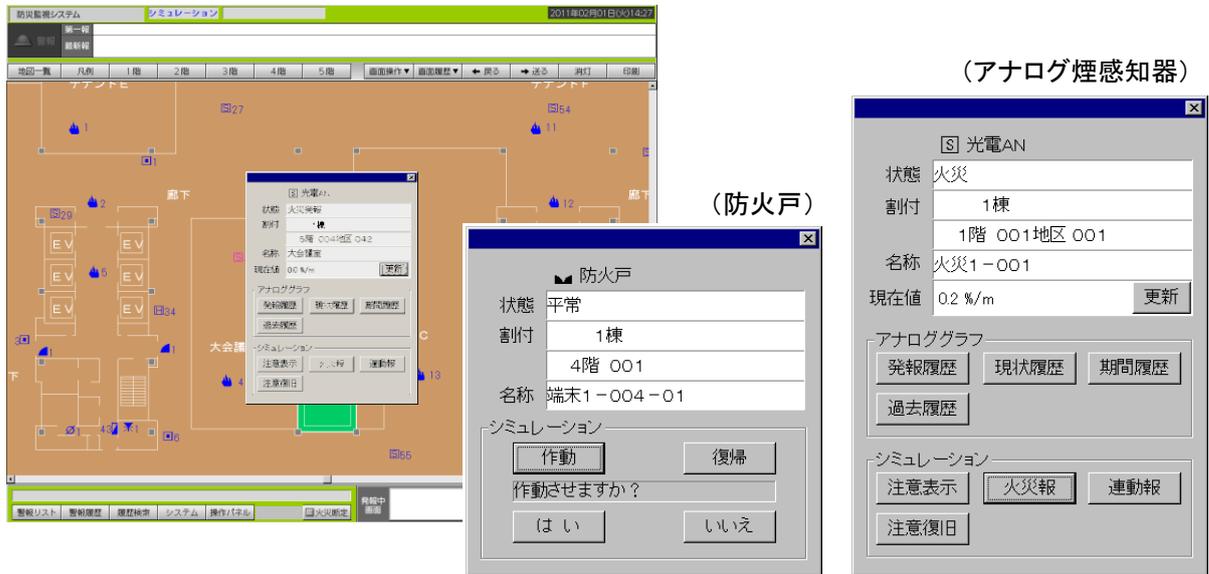
・「消防支援」ボタンを選択すると右記に示す「消防活動支援ダイアログ」を表示し、現在状態を踏まえての「連動停止スイッチ」、「消火ポンプ」及び「排煙機運転」についての受信機状態確認と各操作の手順を誘導します。



（消防活動支援ダイアログ）

4. 8 : シミュレーション

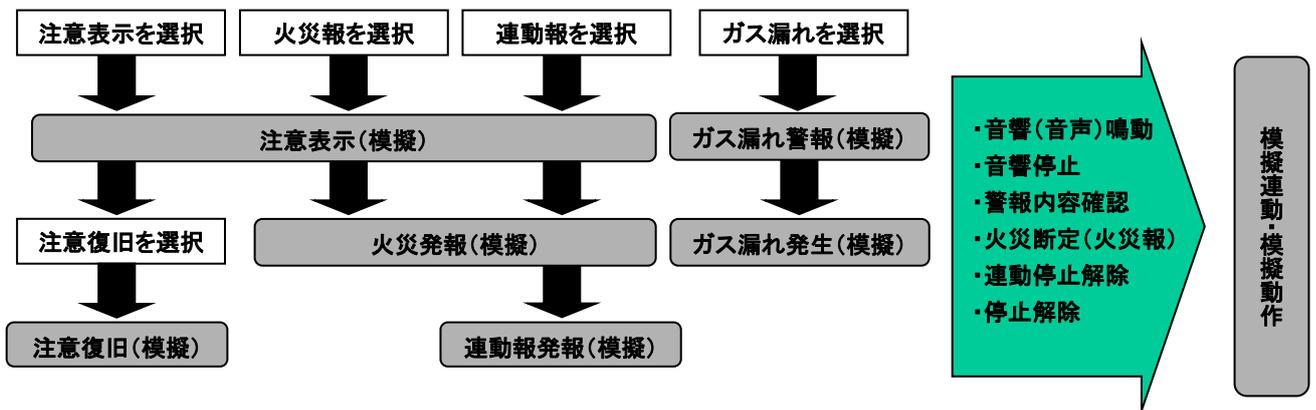
シミュレーションを開始すると、画面上部に「シミュレーション」と表示されシミュレーション状態に入ります。(受信機がシミュレーションを開始可能な状態にあるときだけです)。このときシンボルを選択するとシミュレーション中の特別なメニューが付加されたダイアログが開きます。このダイアログのボタンを操作することによって模擬の警報発報を行い火災訓練などに活用することができます。



* シミュレーション専用ダイアログ例

・シミュレーション発報時動作フロー(アナログ感知器、ガス検知器の場合)

模擬発報レベル等を指定すると、防災CRT装置および受信機が自動的にそのレベルに移行して音響鳴動、火災表示、ガス漏れ表示、連動処理等を模擬的にを行います。音響停止操作、火災断定、連動停止解除操作等も実際の動作さながらに確認をすることができます。



5：表示シンボル例

防災CRT装置の表示シンボル及び表示形態を下表に記します。

以下は表示例です。件名により、使用していないシンボル、記載のないシンボルがある場合があります。

項目	シンボル	平常時	制御中 (注1)	動作時	故障時 (注2)	備考
建物平面図	平面図	黒点灯				
自火報警戒区域		シブ点灯		赤点滅		
自火報警戒区域線	線			赤点滅		
光電アログ感知器		シブ点灯	注意報 黄点滅	火災報 赤点滅	連動報 赤点滅	
光電アログ感知器 (分離型)		シブ点灯	注意報 黄点滅	火災報 赤点滅	連動報 赤点滅	
煙感知器 (アドレス付)		シブ点灯		火災報 赤点滅	連動報 赤点滅	
熱アログ感知器		シブ点灯	注意報 黄点滅	火災報 赤点滅	連動報 赤点滅	
熱感知器 (アドレス付)		シブ点灯		赤点滅		
炎感知器 (アドレス付)		シブ点灯		赤点滅		
発信機 (アドレス付)		シブ点灯		赤点滅		
ガス漏れ検知器		シブ点灯	遅延中 黄点滅	赤点滅		
非常電話		シブ点灯		赤点滅		
受信機		シブ点灯				
連結送水口		シブ点灯				
消火栓設備 (機器収容箱)		シブ点灯				

注1. 「制御中」の色変化には、機器が遠隔復帰型であるものに関り、復帰中の表示も含まれます。

2. 「故障時」は平常時表示色の点滅表示となります。

項目	シボル	平常時	制御中 (注1)	動作時	故障時 (注2)	備考
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ流氷検知装置		ｼﾝ点灯		赤点滅		
泡消火設備		ｼﾝ点灯		赤点滅		
二酸化炭素消火設備		ｼﾝ点灯		赤点滅		
粉末消火設備		ｼﾝ点灯		赤点滅		
非常放送設備						
加圧送水装置		ｼﾝ点灯		緑点灯		消火ポンプのこと
排煙機		ｼﾝ点灯		緑点灯		
消火栓押し釦		ｼﾝ点灯		赤点滅		
非常錠		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
防火戸		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
防火シャッター		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
垂れ壁		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
排煙口		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
特選排煙口給気口		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
給気口		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		メーカー作成シボル
防火ダンパ		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		
自然排煙窓		ｼﾝ点灯	緑点滅	緑点灯		

注1. 「制御中」の色変化には、機器が遠隔復帰型であるもの限り、復帰中の表示も含まれます。

2. 「故障時」は平常時表示色の点滅表示となります。

6 : 機器仕様

項目		仕様	
表示装置	解像度	1280ドット×1024ドット (SXGA) 又は 1920ドット×1080ドット (フルHD)	
	表示色	フルカラー表示	
	表示文字	漢字 : 4560字 (80×57) 英数財: 9120字 (160×57) (16ドット換算)	
本体	OS	Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC (64bit 日本語版)	
	CPU	64ビットCPU	
	主記憶 (メモリ)	8GB	
	記憶装置	SSD 240GB	
	インター フェイス	シリアル	D-sub 9ピン×2
		USB	USB (3.0) ポート×8 (前面2ポート、背面6ポート)
		ディスプレイ	DisplayPort×3 ※ただし表示装置との接続はDP-DVI変換コネクタを使用する。
		ネットワーク	RJ45 (10BASE-T以上) ×2
サウンド関連		ライン出力×1 (ステレオ、ミニジャック)	
操作	マウスによる		
プリンタ (オプション)	用紙15インチ、連続紙、カラー印字 (履歴印字用)		
ネットワークプリンタ (オプション)	用紙 A4、単票、カラー印字 (画面ハードコピー用)		